



[www.nakamichi-leasing.co.jp](http://www.nakamichi-leasing.co.jp)

**中道リース株式会社**

(証券コード 8594)



代表取締役社長 関 寛

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社の第48期（2019年1月1日～12月31日）の事業の概況と決算のご報告を申し上げます。

含めた東京地区が受注高を伸ばしました。商品別は輸送用機械が好調に推移いたしました。以上により受注高ベースで目標額を達成することができました。

企業倒産件数は引き続き減少傾向にあり、更に厳正な与信審査を維持することで昨年増加に転じた信用コストは再び減少に転じ、低い水準で推移しております。

管理部門におきましては、資金調達面では、新規取引、既取引の深耕を図り量的拡大を目指すとともに、安定的かつ良質な資金を調達するためシンジケートローンの組成による資金調達を実施いたしました。

その結果、当事業年度の業績は総受注高42,430百万円（前事業年度比104.5%）、売上高39,537百万円（同100.5%）、経常利益951百万円（同111.0%）、当期純利益619百万円（同117.9%）となりました。

## ■ 営業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、政府や日銀による施策を背景に企業収益や雇用環境の改善が見られ、緩やかな景気回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの世界経済のリスクに加え、日韓関係の悪化や昨年10月に実施された消費税増税後の影響などにより、景気動向は先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか当社は、営業本部・管理本部の本部制を復活し組織強化を図り、「2019年度～2022年度中期経営計画」の初年度として、計画に掲げた経営目標を達成するため、事業戦略・経営戦略への取り組みを着実に進めてまいりました。

営業部門におきましては、営業推進企画部に営業活動支援室を新設し、補助金に係る業務などの営業支援を強化いたしました。スペースシステム事業部は保有資産の効率的運用と新規開拓を図ってまいりました。ヘルスケアサポート事業部は営業品目の拡大を目指し、子会社メッドネクスト株式会社においては更なる新規顧客開拓と業務拡大を図りました。営業業績面では、種類別受注高はリース契約が前年を大きく上回りました。地域別は戦略営業部・スペースシステム事業部を

## ■ 今後の見通しと対処すべき課題

次期の見通しといたしましては、引き続き堅調な雇用環境や底堅い企業業績に支えられ、緩やかな景気回復の動きが続くと予想されます。しかしながら米中貿易摩擦や緊迫化する中東情勢、更に英国のEU離脱問題などの不安定な海外要因に加え、日韓関係の動向や東京オリンピック・パラリンピック後の景気減速懸念などにより、先行きが不透明な経営環境が続くことが予想されます。

また、ここ数年低い水準で推移してきた信用コストの増加、更に金利情勢の変化による資金コストの上昇が懸念されます。

このような状況下で当社は、組織体制を一部変更し、営業資産の増強、営業目標の完全達成を目指します。

営業部門におきましては、東京支社に属していたバス関連営業部を事業部として独立させ、バス事業営業部とします。また釧路営業所および山形営業所をそれぞれ支店に格上げし、営業強化を図ります。また新商品新分野について、継続して開発研究を進めてまいります。ス

ペースシステム事業部は引き続き保有資産の効率的運用と新規開発を図ってまいります。ヘルスケアサポート事業部は営業品目の拡大を目指し、子会社メッドネクスト株式会社においては更なる新規顧客開拓と業務拡大を目指します。

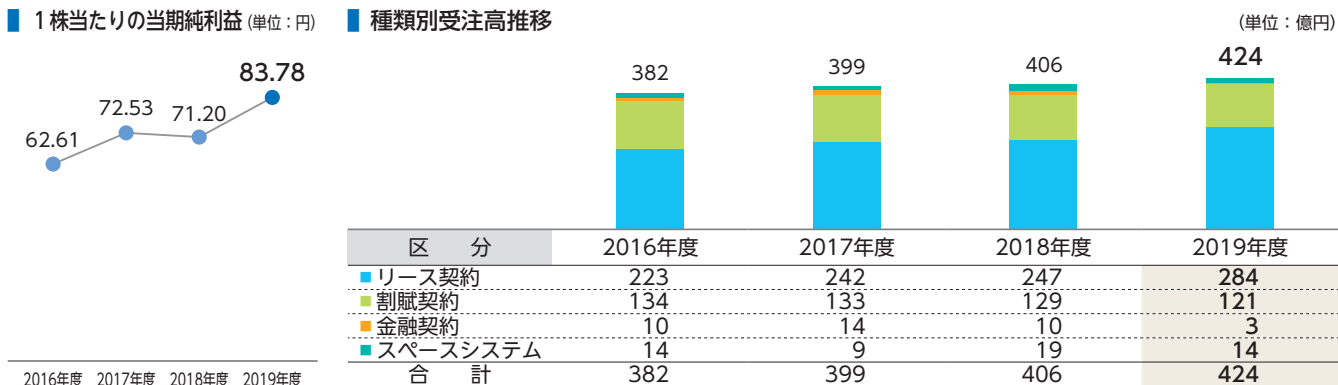
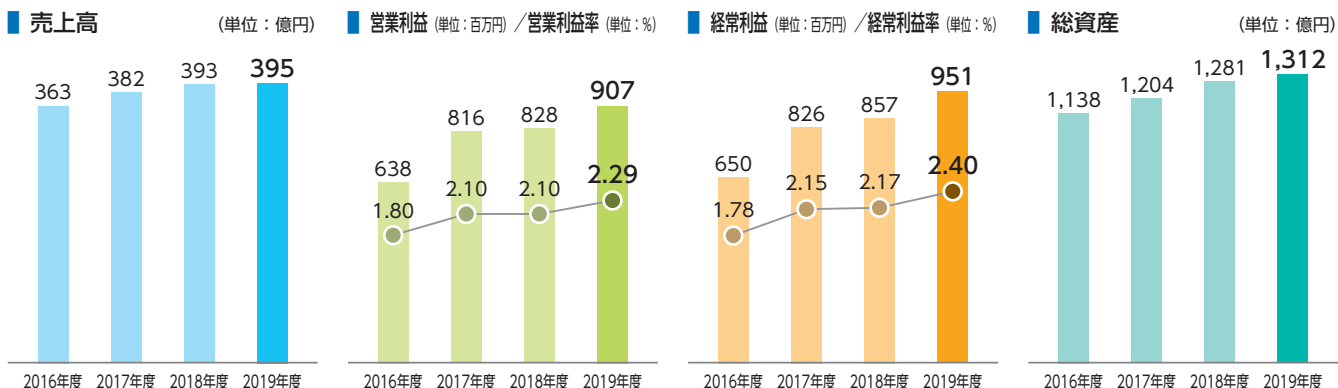
管理部門におきましては、業務の効率化を一層図るとともに部門間の連携を推し進めます。資金調達面では、引き続き新規取引、既取引行の深耕を図るとともに、債権の流動化や社債発行などによる安定的で効率的な

調達を追求してまいります。

当社は創業よりの当社の重点方針である「健全経営・堅実経営」をあらためて認識するとともに、「社員の成長なくして会社の発展なし」の精神を継承し、創業50周年を迎える2022年度を最終年度とする「2019年度～2022年度中期経営計画」の実現に尽力してまいります。

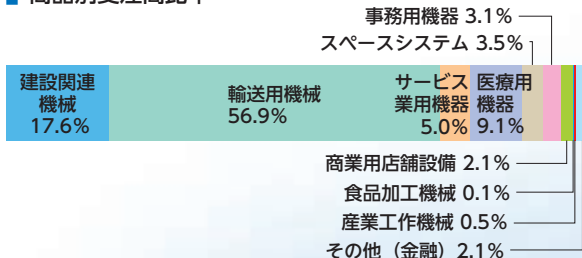
株主の皆様には今後とも更なるご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2020年3月

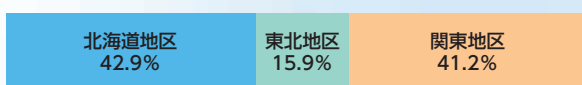


総受注高 **424**億円(前期比 4.5%増)

■ 商品別受注高比率



■ 地域別受注高比率



■ 東北営業部



14.2%

東北営業部は仙台、青森、盛岡、郡山、山形の5箇所に拠点を置き東北全エリア全業界に携わり営業展開をしております。当期においては前期に比べて受注高90.0%、収益105.3%と残念ながら受注高の面では厳しい結果で終わっております。次期につきましても福島、宮城を中心に台風19号による被害の影響が未だ尾を引いているほか、震災復興需要の収束、燃料の高騰、人手不足の深刻化など懸念材料も多く先行きは不透明ではありますが、山形営業所が支店に昇格、引き続き東北5箇所に拠点を有する地域密着の特徴を活かし、株主様のご期待に応えられるよう営業部一丸となって努力してまいります。

■ 東京支社



29.3%

第48期における東京支社は、首都圏から北関東までの7支店で網羅し、バス関連営業部にてバス業界を全国展開。「地域性」「専門性」「人間性」という3つの強みを常に意識した営業展開を行ってまいりました。その結果、営業面は前期に引き続き順調に推移し、目標対比で受注高106.4%、収益額119.6%の実績を計上することができました。次期につきましても引き続き「運輸・通信業界」「土木・建設業界」に注力し、多様化する設備投資ニーズに応えてまいります。米国・イラン関係、中国で発生した新型コロナウイルスなど先行きを不透明にする事象が発生しておりますが、長年培ったノウハウをフルに活かしたユーザーファーストの姿勢を貫き通せばおのずと良い結果がついてくるものと確信しております。区切りの第50期に向け、視界良好となる1年にしたいと考えます。

■ 医療関連営業部



10.6%

医療関連営業部は札幌、仙台、東京に拠点を置き、北海道・東北・関東エリアで営業を展開しております。医療関連業界におきましては厳しい環境下にありますが、2019年度につきましてもは受注高で前年対比112.8%、収益面でも前年対比119.7%という結果で終わることができました。前年より好調な関東エリアに加え北海道エリアでも好成績を収めました。東北エリアにおいてはまだまだ基盤の確立に時間を要しておりますが、様々な営業手法を駆使し着実に前進しております。2020年度は医療業界においては診療報酬の改定年度です。プラス改定が予想されますが楽観視はできません。そしてオリンピックイヤーでもあります。経済や交通等に様々な影響が想定されます。このような変化の中、我々は足元を確認しながら着実に前進してまいります。そして2020年度も社業の持続的な発展に貢献し、株主様のご期待に応えるべく一層努力してまいります。

■ 北海道営業部



33.6%

北海道営業部は札幌、旭川、函館、帯広、苫小牧、釧路の6箇所に拠点を置き、地域密着営業を積極的に展開しております。当期は前期に比べて受注高は112.4%、収益は114.6%と堅調な推移で終わる事ができました。また不良債権発生が最小限に抑えられた事も大きな成果となりました。次期につきましてもは、引き続き「札幌圏の再開発」、「北海道新幹線延伸」、「胆振東部地震復興」等の大型プロジェクトに関連する工事が活発化している事から、お取引先様の設備投資のお役に立つべく営業注力していきます。また、林業分野や酪農分野、食品加工業界への営業も強化していきます。

お取引先様への提案営業を実施しながら前期以上の受注高と収益を目指し、株主様とお取引先様からの信頼と期待に応えられる様に、営業部一同で精一杯の努力を継続してまいります。

## ■ サービス事業・商業施設関連営業部



8.5%

当営業部は店舗流通、食品製造、フリーニング、アミューズメント並びに、レジャー産業等の業界を中心に、従来と変わらず北海道内（主に道央圏）を担当する「営業課」と関東圏を担当する「東京営業課」の二課体制にて営業展開しております。当期において受注高は目標額に対し100.5%、収益も目標額に対し103.3%でありました。既

存のお取引先との受注実績を基礎に、ホテル・宿泊施設業界での設備投資や、そこに携わる分野での受注が寄与し一定の成果をあげる事ができました。次期においてもお取引先様との深度化を一層図るとともに、これまで取引が少ない業界や取扱う物件の拡がりを目指して行きます。不透明な状況ではありますが与信管理はしっかり行い、前年以上の受注高及び収益を残せるように株主様のご期待に応えるべく営業部一丸となって努力してまいります。

## ■ 環境事業営業部

環境事業営業部は、エネルギー消費及びCO<sub>2</sub>削減に重点を置き、補助金を活用したリース契約やESCO契約（エネルギーサービス契約）を中心に営業活動をおこなっております。

当期におきましては、北海道・東北地区の自治体へ、防犯灯や所有施設の照明機器LED化と防災減災に向けた設備導入の提案営業を行いました。

その結果、あらたに宮城県内にて道路灯照明をLED化するリース事業の契約を開始したほか、福島県内にて猛暑対策のために学校教室内に設置する空調機器リース事業を開始しました。

次期におきましても、北海道・東北地区を中心とし地域に密着した営業活動を行ってまいります。また、お客様とのご契約を通じて、地域の安心安全とエネルギー消費及びCO<sub>2</sub>削減に貢献し、社業発展のため営業部一丸となって邁進していく所存でございます。

## ■ スペースシステム事業部



3.5%

スペースシステム事業部は、地域に密着した商業施設の開発を行う商業施設デベロッパ部門です。

当期におきましては、栃木県足利市の複合商業施設を受注し、2021年春オープン予定です。施設のバリューアップの目的で、幕別町札内と香川県丸亀市の既存商業施設内にテナントを誘致致しました。また東京都足立区に築20年の建物を取得し、全面

リニューアルを行いテナントと20年の賃貸借契約を行いました。

当期末時点の総資産額は138億8,800万円です。スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストアを中心に全国64拠点・延べ190テナントに建物を賃貸し、賃貸可能面積のうち99.2%が稼働しております。

次期も、商業施設の新規開発や完成物件の取得により、良質の賃貸資産を増やし、また既存施設のリノベーションや効率的な管理手法を実践しながら、保有資産のバリューアップを図ります。

土地をお貸しいただいている地権者様や建物をお借りいただいているテナント様との更なる信頼関係の構築に励み、株主様のご期待に応えるよう今後も努力してまいります。

## ■ ヘルスケアサポート事業

ヘルスケアサポート事業部は中道リース株式会社100%出資子会社であるメッドネクスト株式会社と一体となって事業運営をおこなっております。メッドネクスト株式会社の事業内容は医療機器・消耗品の販売、給食・清掃等の施設管理業務、病院経営コンサル、医療事務の受託事業など、医療施設の運営関連事業を営んでおります。2019年12月期の業績は売上額845,107千円前年対比104.1%の増収、経常利益額4,953千円前年比42.7%の減益でした。メッドネクスト株式会社の次期業績は新規大型案件の受注を予定し増収増益を見込み営業基盤の更なる拡大を目指し業績の向上を図ってまいります。また引き続き当社医療関連営業部との連携強化を進め、ヘルスケア業界での相乗効果を実現させ中道リース株式会社の発展に貢献し、株主様のご期待にお応えできるように努力してまいります。

貸借対照表 (2019年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	当 期	前 期
<b>資産の部</b>		
流動資産	111,957,188	109,012,531
固定資産	19,260,919	19,009,857
有形固定資産	14,548,612	14,988,047
無形固定資産	83,904	97,444
投資その他の資産	4,628,403	3,924,366
繰延資産	70,832	101,125
資産合計	131,288,938	128,123,513
<b>負債の部</b>		
流動負債	44,162,003	43,903,910
固定負債	79,117,264	76,778,004
負債合計	123,279,267	120,681,914
<b>純資産の部</b>		
株主資本	7,816,755	7,248,263
評価・換算差額等	192,917	193,336
純資産合計	8,009,671	7,441,599
負債・純資産合計	131,288,938	128,123,513

**POINT**

流動資産は前期に比べ2,945百万円増加し、111,957百万円となりました。これは主にリース投資資産が5,856百万円増加し、現金及び預金が2,484百万円、割賦債権が360百万円減少したことによるものです。固定資産は前期に比べ251百万円増加し、19,261百万円となりました。これは主に投資有価証券が386百万円増加したことによるものです。この結果、資産合計は前期に比べて3,165百万円増加し、131,289百万円となりました。

**POINT**

流動負債は前期に比べ258百万円増加し、44,162百万円となりました。これは主に一年内返済予定の長期借入金が1,455百万円増加し、支払手形及び買掛金が1,216百万円減少したことによるものです。固定負債は前期に比べ2,339百万円増加し、79,117百万円となりました。これは主に長期借入金が増加し、社債が1,410百万円減少したことによるものです。この結果、負債合計は前期に比べて2,597百万円増加し、123,279百万円となりました。

**POINT**

純資産合計は前期に比べ568百万円増加し、8,010百万円となりました。これは主にその他利益剰余金が増加したことによるものです。

## ■ 損益計算書 (2019年1月1日から2019年12月31日まで)

(単位:千円)

科 目	当 期	前 期
売上高	39,536,824	39,343,141
売上原価	36,354,327	36,318,672
売上総利益	3,182,498	3,024,469
販売費及び一般管理費	2,275,863	2,196,909
営業利益	906,635	827,560
営業外収益	61,569	44,660
営業外費用	17,072	15,664
経常利益	951,132	856,556
特別損失	5,331	47,901
税引前当期純利益	945,802	808,656
法人税等合計	327,072	283,694
当期純利益	618,730	524,962

### POINT

当期の売上高は主にリース収入の増加により前期に比べ194百万円増加し、39,537百万円となりました。販売費及び一般管理費は人件費の増加等により前期に比べ79百万円増加し、2,276百万円となりました。

この結果、営業利益は前期に比べ79百万円増加し907百万円、経常利益は前期に比べ95百万円増加し951百万円、当期純利益は前期に比べ94百万円増加し619百万円となりました。

## ■ キャッシュ・フロー計算書(要旨) (2019年1月1日から2019年12月31日まで)

(単位:千円)

科 目	当 期	前 期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,422,056	△2,476,010
投資活動によるキャッシュ・フロー	△477,134	△145,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,334,805	5,274,427
現金及び現金同等物の増減額	△2,564,385	2,652,635
現金及び現金同等物期首残高	13,694,495	11,041,860
現金及び現金同等物期末残高	11,130,110	13,694,495

### POINT

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益が946百万円となり、リース債務の増加額1,220百万円、賃貸資産減価償却費924百万円、営業貸付金の減少額421百万円等の増加に対し、リース債権及びリース投資資産の増加額6,801百万円、仕入債務の減少額1,216百万円等の減少により5,422百万円の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、匿名組合出資金の払戻による収入19百万円等の増加に対し、投資有価証券の取得による支出421百万円、定期預金の差引支出額80百万円等の減少により477百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の差引増加額5,688百万円、社債の発行による収入889百万円等の増加に対し、社債の償還による支出2,450百万円、債権流動化の返済による支出741百万円等の減少により3,335百万円の増加となりました。

この結果、当期末における現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ2,564百万円減少し、11,130百万円となりました。

## 盛岡支店開設感謝パーティー開催

2019年9月26日に、これまでの発展とご支援をいただいた皆様への感謝の意を込めまして、開設30周年感謝パーティーを開催致しました。



## 新卒社員採用活動

当社は20歳代の社員が中心となって新卒社員の採用活動を行っています。

本年度も多くのイベントを実行した結果、2020年度は11名の新入社員を仲間に迎え入れることになりました。



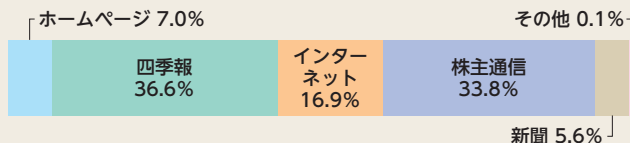


## 第47期アンケートのご報告

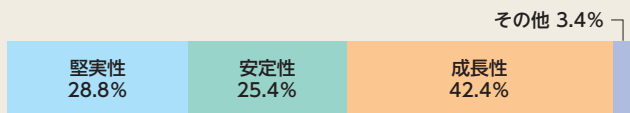
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

第47期株主通信にて実施しました株主のみなさまを対象とした「アンケート」の集計結果の主なデータをご報告いたします。多くのみなさまのご協力を賜りましたことをあらためて感謝申し上げます。

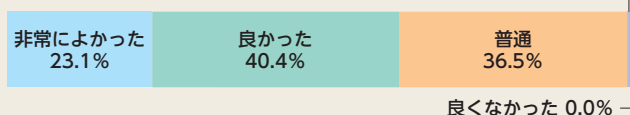
### 1 当社に関する情報入手手段は何ですか？



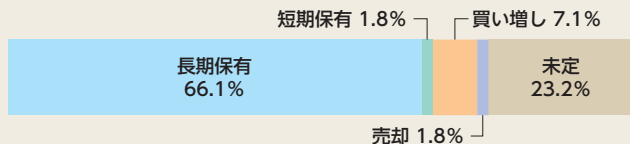
### 2 当社の今後に期待するものをお選びください。



### 3 今回の「株主通信」をお読みいただいて、どのような感想をお持ちになりましたか？



### 4 今後の当社株式に関するお考えをお選びください。



### 5 アンケートの中でいただいたご意見、ご要望の中からその一部をご紹介します。

1	・中配2円で株価対策になります。	北海道外 会社員 40代男性
2	・これからも堅実であってほしいです。ただ業務の効率化をはかるよう、業務フロー、体制は変化させていってほしい。	北海道外 会社員 30代女性
3	・“正直”な対応で、お客さんを満足させて下さい。	北海道外 自営業 70代以上男性
4	・株主優待がほしい クオカード、JCB-UCなど	北海道外 無職 60代男性
5	・株主還元が不足しています。旧日成ビルドなど、中小型株の経営者に不振感があります。IRが増えないのであれば、売却します。今後の好業績、自社株買い（低PBR解消）を節に願っています。	北海道外 自営業 30代男性
6	・配当金をゆうちょでも気軽に受けとれるようにして下さい。	北海道外 自営業 30代男性
7	・優待品の図書カードをQUOカードに変えてほしい。 ・使用期限がない。・書店以外でも使える。	北海道外 会社員 50代男性
8	・図書券をいただきましたが、これって株主優待と一般に言われるものだと思うのですが、発表して、オープンにやったらどうでしょうか。次期の見通しも随分と低くて、見通しと言えるものなのか、ギモンに感じます。全体として、何か清々しない感じがしてなりません。	北海道外 無職 70代以上男性
9	・特にありません。	北海道 会社員 60代
10	・増配期待しております。	北海道外 会社員 40代男性
11	・図書カードの継続をお願いします。	北海道外 会社員 40代男性
12	・優待の新設より株の配当金で還元してほしいです。知名度upのため東証にも上場していただきたいです。図書カードありがとうございます	北海道外 会社員 30代男性
13	・増配と株価対策重要	北海道外 自営業 60代男性
14	・内部留保は充分と思われるので少なくとも配当性向30%程度の21円以上の配当を行ってほしい。貴社の配当は同業他社に著しく劣っている。	北海道外 無職 70代以上男性
15	・いつも元気に……!	北海道 会社員 50代男性
16	・今年度はじめて株主になったので株主通信と図書カードが同封されていたのでびっくりしました。意外に個人株主も大事にされる会社なのかなと思いました。	北海道外 無職 40代男性
17	・役員、社員が丸となって努力されていることが良くわかりました。欲を言えば財務諸表の項目をもう少し細分化してより分かりやすくして欲しい。	北海道外 無職 70代以上男性

株主のみなさまからいただきました貴重なご意見・ご提言を真摯に受け止め、企業価値の向上及びIR活動の拡充に努めてまいりますので、今後とも更なるご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 会社の概況 (2019年12月31日現在)

会社名 (英文)	中道リース株式会社 Nakamichi Leasing Co., Ltd.
本社	札幌市中央区北1条東3丁目3番地
設立年月日	1972年4月21日
主要な 事業内容	・各種物件のリース及び延払販売ならびに融資 ・不動産の売買、賃貸借ならびに仲介斡旋
従業員	154名
資本金	2,297.4百万円

## 取締役及び監査役 (2020年3月19日現在)

代表取締役	関 寛
常務取締役	西 中 秀 之
常務取締役	関 崇 博
取締役	石 井 晃 司
取締役	遠 藤 龍 二
取締役(社外)	中 田 美知子
取締役(社外)	和 泉 晶 裕
常勤監査役	池 原 和 男
常勤監査役	高 橋 正 幸
監査役	村 木 靖 雄
監査役	柴 田 龍

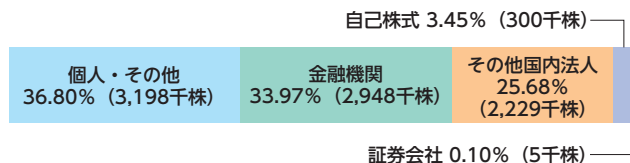
## 株式の概況 (2019年12月31日現在)

発行可能株式総数	27,000,000株
発行済株式の総数 (自己株式1,284,907株を除く)	7,394,893株
株主数	574名

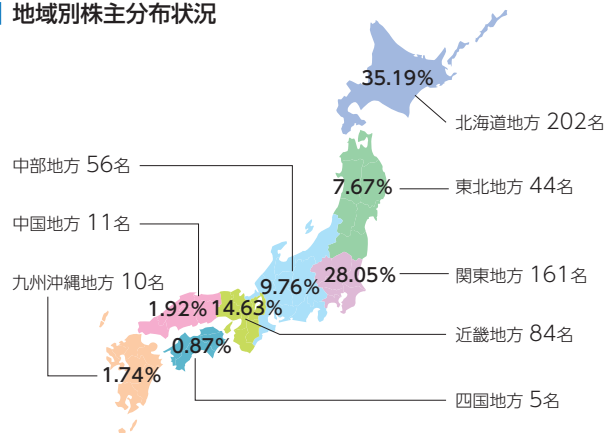
### 大株主

株主名	持株数	持株比率
関 寛	1,490,500株	17.17%
芙蓉総合リース株式会社	831,000	9.57
ノースパシフィック株式会社	823,000	9.48
株式会社北洋銀行	410,728	4.73
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	293,000	3.38
株式会社北海道銀行	290,000	3.34
三井住友海上火災保険株式会社	253,000	2.91
関 崇博	235,800	2.72
北海道信用金庫	135,000	1.56
株式会社ほくやく	100,000	1.15

### 所有者別株式分布状況



### 地域別株主分布状況



■ 本社	〒060-8539	札幌市中央区北1条東3丁目3番地 札幌スクエアセンタービル6階 TEL(011)280-2266・FAX(011)280-2727
■ 営業部	〒060-8539	札幌市中央区北1条東3丁目3番地 札幌スクエアセンタービル5階 TEL(011)280-2171・FAX(011)280-2002
■ 札幌支店	〒060-8539	札幌市中央区北1条東3丁目3番地 札幌スクエアセンタービル5階 TEL(011)280-2171・FAX(011)280-2002
■ 旭川支店	〒070-0031	旭川市1条通9丁目50番地3 旭川緑橋通第一生命ビル5階 TEL(0166)25-5301・FAX(0166)25-5325
■ 帯広支店	〒080-0010	帯広市大通南10丁目8番地 帯広フコク生命ビル6階 TEL(0155)25-2030・FAX(0155)25-2028
■ 函館支店	〒040-0011	函館市本町7番18号 函館道銀ビル7階 TEL(0138)56-1040・FAX(0138)56-5020
■ 苫小牧支店	〒053-0022	苫小牧市表町5丁目4番7号 苫小牧海晃第一ビルディング2階 TEL(0144)32-1654・FAX(0144)33-3185
■ 釧路支店	〒085-0015	釧路市北大通11丁目1番地2 釧路第一生命ビル5階 TEL(0154)31-8800・FAX(0154)25-2234
■ 東京支社	〒105-0013	東京都港区浜松町1丁目27番14号 サン・キツカウビル3階 TEL(03)3459-0911・FAX(03)3459-0916
■ 大宮支店	〒330-0803	さいたま市大宮区高鼻町1丁目31番地1 TOPS大宮ビル5階 TEL(048)641-9933・FAX(048)641-9922
■ 横浜支店	〒220-0022	横浜市西区花咲町7丁目150番地 ウェインズ&イッセイ横浜ビル10階 TEL(045)410-2235・FAX(045)410-2236
■ 千葉支店	〒260-0013	千葉市中央区中央3丁目3番1号 フジモト第一生命ビルディング9階 TEL(043)225-6366・FAX(043)225-6331
■ 水戸支店	〒310-0026	水戸市泉町1丁目2番4号 水戸泉町第一生命ビルディング8階 TEL(029)303-2055・FAX(029)233-2566
■ 宇都宮支店	〒320-0811	宇都宮市大通り2丁目3番1号 井門宇都宮ビル7階 TEL(028)614-3655・FAX(028)633-6262
■ 高崎支店	〒370-0828	高崎市宮元町212番地 高崎宮元ビル9階 TEL(027)395-4811・FAX(027)395-0678
■ 仙台支店	〒980-0014	仙台市青葉区本町2丁目3番10号 仙台本町ビル6階 TEL(022)266-2741・FAX(022)266-1575
■ 青森支店	〒030-0802	青森市本町1丁目2番15号 青森本町第一生命ビルディング6階 TEL(017)723-4431・FAX(017)723-4427
■ 盛岡支店	〒020-0021	盛岡市中央通3丁目1番2号 盛岡第一生命ビル9階 TEL(019)623-4841・FAX(019)623-4833
■ 郡山支店	〒963-8014	郡山市虎丸町21番10号 EME郡山ビル7階 TEL(024)935-6890・FAX(024)935-6892
■ 山形支店	〒990-0039	山形市香澄町2丁目2番31号 カーニープレイス山形4階 TEL(023)633-3310・FAX(023)633-3800

## 経営の理念

『わが社は事業を通じ、社会の発展に貢献する。』

1. 業績を高め、株主の期待に応える。
2. 従業員の生活向上と働きがいある企業づくりをめざす。
3. 取引先との共存共栄をはかり、社会との連帯を深める。

## 基本方針

わが社は『経営の理念』のもと、緑豊かな地球を次世代に引き継ぐため、リース事業を幹とした金融サービスを通じ、適切な品質提供と環境保全に取り組みます。

この方針は、全役職員への周知徹底とともに、法令及び当社が同意するその他の要求事項の順守を根に適切性維持のため見直し、継続的に改善します。

## 品質方針

- ◎ 地域営業基盤を強化するとともに顧客サービスの継続的改善をめざします。
- \* 顧客ニーズへの適切な対応
- \* 迅速な顧客対応
- ◎ 営業資産の健全化と与信管理の充実をはかります。

## 環境方針

- ◎ 天然資源の枯渇防止を目的とし、循環型社会の形成に寄与します。
- \* 省資源・省エネルギー・再資源化の推進
- \* 環境汚染予防の推進



ISO9001認証取得  
ISO14001認証取得

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月下旬
配当金のお支払い	期末配当金は毎年12月31日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録質権者にお支払いいたします。
基準日	毎年12月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して、基準日を定めます。

## 株式事務取扱場所

株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

	証券会社に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社に なります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

上場証券取引所 札幌証券取引所

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、北海道新聞および日本経済新聞に掲載いたします。公告掲載ホームページアドレス  
<http://www.nakamichi-leasing.co.jp/>

## WEBサイトのご案内

中道リース

検索



<http://www.nakamichi-leasing.co.jp/>



「リースについて」には、リースの仕組み、リース対象物件等を公開しております。



「IR情報」ではプレスリリース、決算短信、業績状況、株主通信のバックナンバー等を公開しております。



元気からはじめます。

**中道リース株式会社**



見やすく読みましがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。



この冊子は「再生紙」と  
環境に配慮した「植物油  
インキ」を使用しており  
ます。